

第2次加東市総合計画前期基本計画(素案)への意見一覧

VII 戦略的経営と協働で創造する魅力あふれる安全なまち	
施策1) 戦略的行政経営の創造	
107ページ	<p>②行財政改革の推進</p> <p>『市の取組』に「行財政改革を行政評価と一体的に推進し、事業の選択と集中を進め、重点的に取り組むべき施策に経営資源を優先的に配分するとともに、財政負担の軽減・平準化や行政効率の向上を図ります。」とあるが、重点的に取り組むべき施策を基本計画に具体的に標記すべき。</p>
	<p>③行政組織の見直し</p> <p>現状と課題を把握し、その『市の取組』として「総合計画と連動した組織体制を構築する」とあるが、未だに示されていないことは総合計画策定の根本に関わる。組織体制を示さず、パブコメを実施するのか。</p>
	<p>④総計調査を有効活用したまちづくり施策の展開</p> <p>(質問) 市の取組に「統計調査を適正に実施するとともに・・・」とあるが新たな統計調査を実施するのか？統計調査の分析を実施するのか？記載文言を確認したい。</p> <p>「・・・調査結果の分析により市や地域の様々な課題を分析・把握することで、根拠に基づいた効果的な施策を立案し、様々な事業を展開します。」とあるが、市のHPには加東市統計書は26年度分までしか記載がない。</p> <p>今年度予算で統計の分析事業があるが、統計の分析・整理できていない状況で市の取組が示すことが妥当か。まずは、統計の調査分析を実施して次期基本計画の策定資料とすべきと思う。現の26年度までの統計調査の分析を根拠に効果的な施策が展開できるのか。</p> <p>基本計画には、直近の分析データを反映させるべき。</p>
109ページ	<p>①教育施策の総合的推進協働の取組</p> <p>「戦略的」の表現は「先進的な施策」などイメージするが、市の取組は現在の状況であると感じる。戦略的などとするならば兵庫教育大学との連携等の施策を基本計画で示すべき。</p>
111ページ	<p>②地域公共交通ネットワークの形成</p> <p>地域公共交通網形成計画のP98に計画の目標を達成するための17の施策が掲げられている。その中で、優先的に取り組むべき5つの重要施策に「タクシーの有効活用に向けた取組」があるが、市の取組として「タクシーの有効活用」についても基本計画で示すべき。</p>
	<p>④地域の主体的な取組による地域公共交通の維持・拡大</p> <p>『市の取組』で、地域が取り組まれている有償運送も現状は運転手不足など課題も多い事から「小中一貫校開設に伴うスクールバスの有効利活用など積極的に取り組む」計画が必要である。</p>

112ページ	<p>まちづくりの指標</p> <p>②運行ダイヤ、路線等の変更件数で、ダイヤの変更件数2件に関して、地域公共交通網形成計画にある小野藍本線および社三田線の路線変更だけでも2件を上回るの、目標値としては適切ではない。 また、ダイヤの変更は「成果」ではないから、指標としてあげること自体が不適切だと考えられる。</p>
	<p>まちづくりの指標</p> <p>指標③は共に地域交通網形成計画の重点施策をしっかりと取り組めば自然と目標値が達成できると考える。従って網形成計画の優先的に取り組むべき重要施策を指標とすべきである。</p>
113ページ	<p>将来のあるべき姿</p> <p>交流人口の増加をどう図るのか、市の取組として、基本計画で首都圏からの交流人口を導く施策を定めるべき。</p> <p>③移住・定住施策の展開</p> <p>『市民・地域・事業者等の取組』で、「市民は、市の良さを見直し、市への移住・定住につながるように市外に市の魅力を積極的にPRします。」 ※文が簡略しすぎているのでもう少し具体的にたとえば上記のようにしてはと思う。</p>
施策2) 協働のまちづくりの確立	
117ページ	<p>(52) 協働のまちづくりによる地域の活性化</p> <p>いずれの施策においても「協働の取組」としている点からしても、市と市民、事業者が同じベクトルでまちづくりに取り組む必要がある。本来は、この計画の中で、「協働の指針」的なものを策定し、「協働」のかたち・あり方を定め、市職員、市民、事業者等と「協働」の意味・定義を共有しまちづくりを進めるべき。 協働の方針は地区計画策定時に定めるとの説明であったが、総計策定時に定めないことが理解できない。</p>
Ⅷ 行政経営基盤が安定したまち	
施策1) 安定した行政経営基盤の確立	
127ページ	<p>①適正な職員数の確保</p> <p>『市民・地域・事業者等の取組』で、「市民は、市を愛し市をPRし、市民のために働く若い世代の確保に協力します。」 ※職員数の確保についての取り組みであるので、市職員の確保に協力してもらおうような、こういった文面にしてはと思う。</p>
129ページ	<p>①ICTの利活用の推進</p> <p>『市の取組』で「～市民サービスの充実へ向けた取組をより一層推進します。」→「ICTを利活用した事業を実施し、市民サービスの向上に向けてより一層推進します。」 ※「市民の取組」や「まちづくりの指標」との整合性を図るために『ICTの利活用』の文言を入れる方がより明確となるのではと思う。</p>

資料1 第1章～第6章の部分

4ページ	<p>第3章 重点戦略2、重点戦略4</p> <p>重点戦略2「加東ブランディングによる選ばれるまちづくり」と重点戦略4「安全・安心・快適！加東住みよきブランドづくり」について記載がある。</p> <p>「ブランド」とは有形無形の価値であり、「ブランディング」とはその価値を訴求するための活動であると思うが、ここで表現されている「ブランディング」と「ブランド」の意味の捉え方を整理すべき。また、シティセールス、シティプロモーションと深く関わっていくものであると思うが、これらはどう関連していくのか定めるべき。</p>
7ページ	<p>第3章 重点戦略4</p> <p>国土交通白書によれば、「多極ネットワーク型」とは、コンパクトシティ類型のひとつで「合併前の旧町村中心部を地域拠点として、中核拠点とネットワークで結ぶまちづくり」とある。</p> <p>「多極ネットワーク型都市構造」を目指すのであれば「多極ネットワーク型コンパクトシティ」というような表現にしたらどうか。なぜ、コンパクトシティの表現をいれないのか。</p>